

当院の被ばく低減施設認定更新時の苦労と方策について

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 埼玉県済生会加須病院 放射線技術科 主任 | 内海将人

当院について

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 埼玉県済生会加須病院は、利根保健医療圏唯一の三次救急病院として救命救急センターに指定。常駐型救急ワークステーションを併設している。許可病床数は304床、標榜科は24科、地域医療支援病院および災害拠点病院に指定された、地域における中核病院である。2022年に埼玉県久喜市（旧栗橋町）より埼玉県加須市に新築

移転し、埼玉県済生会栗橋病院から埼玉県済生会加須病院へ名称変更された。診療放射線技師は26名在籍している。設置機器は一般X線撮影装置（2台）、ポータブル撮影撮影装置（5台）、X線CT装置（3台）、血管撮影装置（循環器用1台、多目的1台）、手術室ハイブリッド1台）、MRI（2台）、X線透視装置（多目的2台、泌尿器対応1台）、骨密度装置（1台）、結石破碎装置（1台）、検診用X線撮影装置（1台）、検診用X線透視装置（1台）、であり、核医学装置、放射線治療装置、PETは設置していない。

当院の被ばく低減施設認定

当院は2017年3月に日本診療放射線技師会（以下JART）認定である被ばく低減施設認定を認定番号59番で取得した。施設認定の更新は5年ごとであるが、新型感染症による影響もあり施設認定更新の時期が延長された。その結果、2023年に更新申請受理、2024年に更新となった。



図1 埼玉県済生会加須病院の全景